

だれもが、いろいろな生き方を 選べるまちを目指します。

横浜市では、2001年4月に「男女共同参画推進条例」をつくりました。そして、社会の変化に合わせて、5年ごとに新しい計画をつくって、男女共同参画^{※1}を進めてきました。

2024年4月には、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」ができました。経済的な問題があること、性暴力や性犯罪の被害や、家族との関係が悪いことなど、複雑で、多様になっている女性の問題に対して取り組む必要があります。

働く時間や場所をえらべるような働き方が広がっています。また、男性が育児のために休みを取ることや、ハラスメント^{※2}をなくすよう取り組むこと、女性が活躍できるようにすることなどが進んでいます。

一方、ふだんの生活では、約70%の人が、性別によって役割などを決めつけられたことがあります。また、希望するとおりに家事や子育て、家族の世話の分担ができていないことが分かっています。

このような問題に取り組むために、第6次横浜市男女共同参画行動計画では、「女性活躍の推進と働きやすい職場づくり」「安全・安心な暮らしの実現」「誰もが生き生きと生涯活躍できる地域・社会づくり」の3つの取組を進めます。

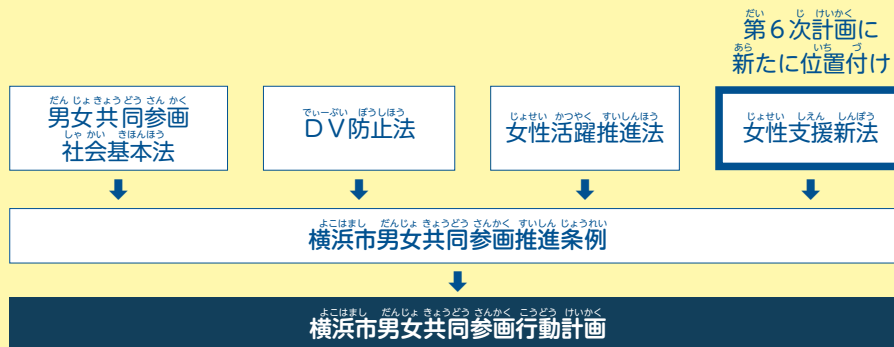
横浜市はこれからも、だれもがいろいろな生き方を選べる社会を目指して、市民や会社、市民の団体などと協力して取り組んでいきます。

※1男女共同参画：男性と女性が同じように参加して、ものごとを決めることができること

※2ハラスメント：(主に職場で)嫌がらせや、不快に感じる行為を受けること

<法律との関係>

この計画は、横浜市男女共同参画推進条例で作ることが決められています。また、男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）、そして2024年4月に始まった困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（女性支援新法）で決められた計画です。

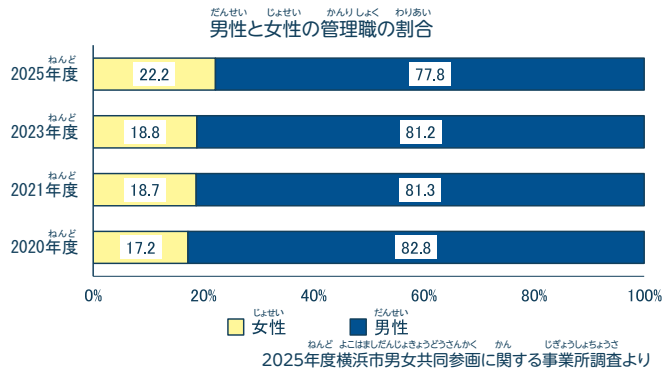


横浜市の現状と課題

はたら 働くこと



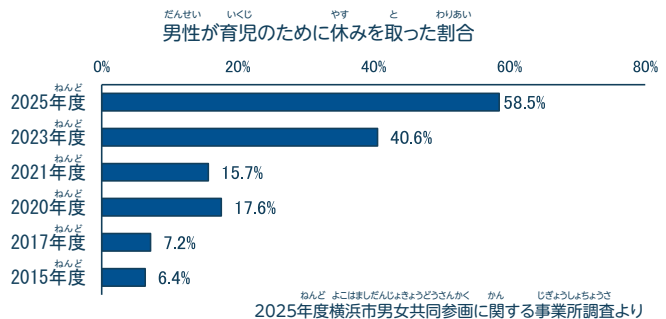
市内の会社では、管理職(リーダー)の22.2%が女性で、女性の割合は少しずつ増えていきます。一方、女性が管理職になれるように取り組んでいる会社は、全体の約25%です。



男性が育児のために休みを取ること



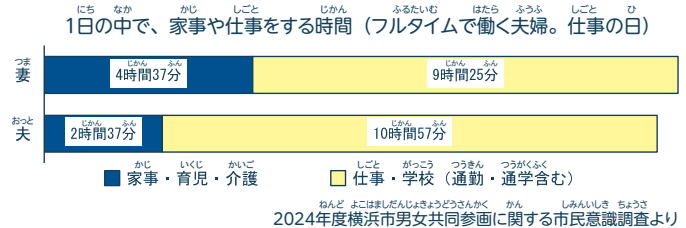
男性の育児のための休みの制度がきたため、市内の会社では、育児のために休みを取る男性が増えて、全体の58.5%になりました。しかし、人手が足りないことや職場の理解が足りないことが理由で、休みを取りにくいことがあります。育児のための休みを取った男性のうち、約20%は、1週間未満しか休みを取っていません。



家事の分担



国の調査では、パートナーと半分ずつ分担して子育てしたいと考えている人が、50%以上います。男女が一緒に子育てをするという考えが広がっています。しかし、市の調査では、夫婦が同じ時間働いていても、女性は男性の約2倍の時間、家事をしていることが分かっています。

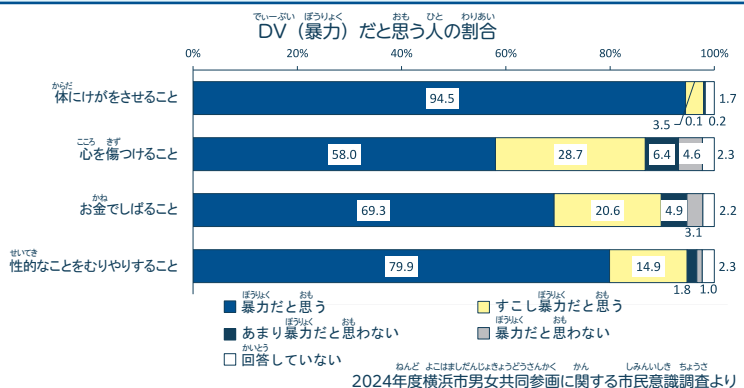


DVの理解



DVのうち、「体にけがをさせるようなこと」は、ほとんどの人が暴力だと思っています。「家族以外と話をさせない」「行き先を監視する」「無視する」など、心を傷つけることや、性的なことをむりやりすることも暴力ですが、これらはまだ十分に理解されていません。

※DV: 家族など、身近な人からの暴力



大切にしている考え

- ・SDGsを大切にすること

SDGs（持続可能な開発目標）の考えを大切にします。いろいろな取組に、ジェンダーの考え方を入れることによって、ジェンダー平等社会を目指します。

- ・市役所といろいろな団体が協力すること

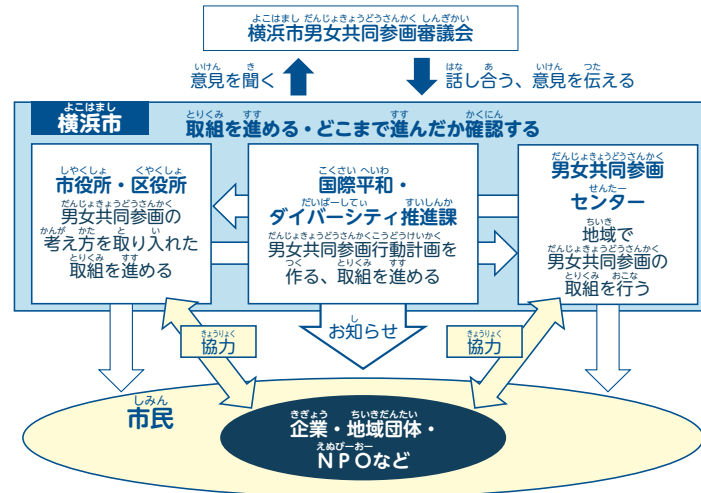
社会の問題は、複雑で、むずかしくなっています。そのため、男女共同参画センターや、地域や学校、会社、NPO（市民の団体）、役所などが協力します。

- ・市役所でのジェンダー主流化

市役所は、いろいろな分野の取組で、男女共同参画を進めます。

計画を進める体制

市民局国際平和・ダイバーシティ推進課は、男女共同参画行動計画を作って、取組が進むように調整します。また、男女共同参画の大切さを広めます。そして、取組がどこまで進んでいるかを確認します。市役所や区役所では、いろいろな分野で男女共同参画の考え方を取り入れて、取組を進めます。男女共同参画センターでは、地域に出て行う活動や、地域の団体や会社と協力して、一人ひとりの必要なことに合わせた支援や事業を行います。



■成果指標

男女共同参画社会が、どのくらい進んでいるかを知るための目安です。

成果指標	いま 今の数字	目標
管理職（課長級以上）の女性の割合	市内企業 22.2%	市内企業 30%
	市役所 21.0%	市役所 30%（2029年度）
育児のための休みを取った男性の割合	市内企業 58.5%	市内企業 85%
	市役所 80.0%	市役所 85%（2029年度）
DVIについて理解している市民の割合	精神的暴力 58.0% 性的暴力 79.9%	それぞれ10%増える
困りごとがある女性を、みんなで支援できていると思う市民の割合	18.2%	10%増える
男性と女性の家事・子育て・家族の世話の分担（平日・共働き世帯）	男女の家事の時間比 2：1	男女が同じように負担するようになる
健康に気をつけている市民の割合	87.8%	87.8%より増える（2029年度）

政策1

女性活躍の推進と働きやすい職場づくり

施策1

働きたい女性・働き続けたい女性の活躍を進める

施策指標	今の数字	目標
リスクリング※支援により、 仕事が決まった女性の数	55件 (2023～2024年度の合計)	280件 (2026～2030年度の合計)
女性が管理職になるために 取り組んでいる会社の割合	25.4%	30%

※リスクリング：新しい仕事をするために必要なスキルを身に付けること

主な取組

- 女性の就職や働くことの支援
- 自分で会社を始める女性の支援
- 会社の女性管理職（リーダー）を育て、昇進を進める

施策2

だれでも働きやすく、暮らしやすい社会をつくる

施策指標	今の数字	目標
よこはまグッドバランス認定企業数	284社	425社
保育所の空きを待っているこどもの数	0人	0人 (2029年度)

主な取組

- 働く時間や場所が選べるなど、いろいろな働き方ができるようにする
- 職場でのハラスメントがないようにする
- 男性が育児のための休みを取れるようにする
- 仕事をしながら子育て・家族の世話ができるようにする

施策3

市役所での女性の活躍、男女共同参画と、働き方の見なおし

施策指標	今の数字	目標
やりがいを感じている 市の職員の割合	80.1%	90% (2029年度)
女性の市の職員で、 係長になるための試験を受けた割合	21.4%	50% (2029年度)
市の大事なことを話し合う会議のうち、 女性の割合が40%未満の会議の数	31	25

主な取組

- 市役所での女性の活躍、だれでも働きやすい職場づくり
- 学校の先生の働き方の見なおし
- 消防・交通局での女性の活躍や働きやすい職場づくり
- 市の大事なことを話し合う会議で女性の割合を増やす

あんぜん あんしん く じつげん
安全・安心な暮らしの実現

しさく 4
施策4 身近な人からの暴力(DV)を止める、性別にかかわるすべての暴力をなくす

しさく しひょう 施策指標	いま すうじ 今の数字	もくひょう 目標
でいぶい そうだんまどぐち し ひと わりあい DVの相談窓口を知っている人の割合	70.9%	80%
けんしゅう さんか ひと でーと でいぶい 研修に参加した人で、デートDVに ついて、よく理解した人の割合	ちようさちゆう 調査中	ちようせいちゆう 調整中

おも とりくみ
主な取組

- DVの相談支援の仕組みをつくる
- DV加害者に対する取組
- DVや暴力が起こらないように、正しい理解を進める
- 若い人のデートDV・性暴力を止める
- 児童虐待に対応する機関との協力
- DV被害者の支援、性暴力・性犯罪への対応

しさく 5
施策5 困りごとがある女性を支援する

しさく しひょう 施策指標	いま すうじ 今の数字	もくひょう 目標
こま じよせい さんか そうだんまどぐち 困りごとがある女性の相談窓口を 知っている人の割合	43.1%	10%増える
「ひとり親サポートよこはま」などの 支援によって仕事が決まった人の数	1,511人 (2020～2024年度の合計)	1,800人 (2025～2029年度の合計)

おも とりくみ
主な取組

- 困りごとがある女性の支援
- ひとりで子どもを育てるお母さんの仕事や生活の支援
- 性別による問題の相談・支援
- 外国人・障害者などの支援

しさく 6
施策6 地域の災害への備えに男女が協力して参加する

しさく しひょう 施策指標	いま すうじ 今の数字	もくひょう 目標
じよせい さんか じよせい ようぼう 女性が参加して、女性の要望が 取り入れられた訓練を行った数	75	459 (2029年度)

おも とりくみ
主な取組

- 地域の災害への備えに男性と女性が参加する
- 消防団での女性活躍を進める

しさく 7
施策7 いろいろな性のあり方*を支援する、よく知ってもらう

しさく しひょう 施策指標	いま すうじ 今の数字	もくひょう 目標
いろいろな性のあり方*を 理解している市民の割合	60.1%	80%

おも とりくみ
主な取組

- いろいろな性のあり方について知ってもらう
- LGBTやいろいろな性の人の相談・支援
- パートナーシップ宣誓制度

*いろいろな性のあり方：自分の性別をどう考えているか、どんな形や見た目の体をしているか、だれを好きになるか、などが人それぞれ違うこと

政策3

誰もが生き生きと生涯活躍できる地域・社会づくり

施策8

仕事と生活のバランスを取り、家事・子育て・家族の世話を家族で分担する

施策指標	今の数字	目標
地域の父親向けの子育て講座の参加人数	5,172人 (2020～2024年度の合計)	5,500人 (2025～2029年度の合計)

主な取組

- 仕事と生活のバランスを取ったり、家事・子育て・家族の世話を家族で分担できるようにする

施策9

年れいや性別に合った健康支援をする

施策指標	今の数字	目標
女性に多い病気に 対応している人の割合	調査中	調査中
子宮頸がんや、乳がんの検診を受けた人の割合	子宮頸がん 43.6% 乳がん 50.5%	それぞれ60%より多い (2028年度)
特定健診を受けた人の割合(40歳以上の国民健康保険の加入者)	29.3%	40.5% (2029年度)

主な取組

- だれでも安心して出産・子育てができるようにする
- 女性に多いがんの対策
- 性についての教育と、妊娠・出産の正しい知識を広める
- 男性・女性それぞれの健康課題への対応
- 健康づくり、介護予防・高齢者の支援

施策10

地域や教育で男女共同参画を進める

施策指標	今の数字	目標
性別による決めつけによって、 生きづらさを感じる人の割合	39.5%	10%減

主な取組

- 地域で性別に関係なく活躍することの大切さを広める
- 生きづらさを感じる男性の支援
- 男女共同参画を知ってもらおう、若い人に考えてもらう
- 男女共同参画についての調査・研究

【生活で悩みや困りごとがある人のための相談窓口】

仕事や家庭、人間関係、お金の心配など、毎日の生活に悩みがある人のための相談窓口があります。
一人で悩まないで、相談してください。

DVやデートDVの相談

- 横浜市DV相談支援センター
- 女性福祉相談
各区福祉保健センター子ども家庭支援課
- 男性のためのDV相談
神奈川県配偶者暴力相談支援センター
- かながわDV相談LINE
- DV相談+（内閣府）
- 横浜市デートDVチャット相談窓口
「Yちゃっかる」

性暴力や性犯罪被害者の相談

- かながわ性犯罪・性暴力被害者
ワンストップ支援センター（かならいん）
- 横浜市犯罪被害者相談室
- 神奈川県男性及びLGBTs被害者のための
専門相談ダイヤル

男女共同参画の相談

- 心とからだで生き方の総合相談
- 男性相談員による男性のための電話相談
男女共同参画センター
- 女性福祉相談
各区福祉保健センター子ども家庭支援課

生活のお金についての相談

- 各区福祉保健センター生活支援課

妊娠・出産の相談

- にんしんSOSヨコハマ

不妊・不育の相談

- 一般相談
各区福祉保健センター子ども家庭支援課
- 専門相談・心理専門相談
- ヨコハマ妊活SNS相談
- 神奈川県不妊・不育専門相談センター

子どもについての相談

- 子ども家庭相談
各区福祉保健センター子ども家庭支援課
- よこはま子ども・若者相談室（LINE相談）

ひとりで子どもを育てる親の相談

- ひとり親サポートよこはま
- ジョブスポット（各区役所の中にあります）

家にこもりがちで悩んでいることについての相談

- ひきこもり相談専用ダイヤル

仕事を見つけることの相談

- ハローワーク
- マザーズハローワーク

気持ちの落ち込み、悩みの相談

- こころの電話相談
横浜市こころの健康相談センター

高齢者の相談

- 高齢者福祉・要介護認定・サービス利用・
被保険者の資格や保険料に関する相談
各区福祉保健センター高齢・障害支援課
- 終活に関する相談
あんしん終活相談センター

障害についての相談

- 各区福祉保健センター高齢・障害支援課

性別による差別の相談

- 男女共同参画に関する人権侵害相談・申出制度
男女共同参画センター

いろいろな性のあり方についての相談

- よこはまLGBT相談

※ 2026年3月の情報です。連絡先などは、
横浜市ウェブサイト（右の二次元バーコード）で確認してください。



2026年4月

横浜市市民局国際平和・ダイバーシティ推進課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 ☎ 045-671-2017 ✉ sh-ipdiv@city.yokohama.lg.jp